

# 水平角・垂直角対応表を使用したアジャストプレートの角度調整方法

## 1. はじめに

角度補正は、お手元に”アジャストプレート：水平・垂直角対応表”と製品納入時に添付してあります”下部用メモリ板”をご用意下さい。

”アジャストプレート：水平・垂直角対応表”、”メモリ板”は弊社ホームページからダウンロードを行うことができます。(http://www.moritani-kouki.co.jp/)

設定方法は2項から7項にて手順の説明をしております。

水平角、垂直角のどちらかのみを補正するケースでは8項も参照ください。

アジャストプレート及び補剛板



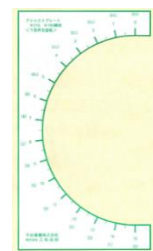
水平垂直角対応表

0°～15° アジャストプレート 水平角・垂直角対応表

山数	0°	1°	2°	3°	4°	5°	6°	7°	8°	9°	10°	11°	12°	13°	14°	15°
6山	120°	118°	115°	111°	107°	104°	100°	96°	92°	87°	83°	78°	73°	68°	64°	59°
7山	110°	107°	104°	100°	96°	92°	87°	83°	78°	73°	68°	64°	59°	55°	50°	46°
8山	98°	96°	92°	87°	83°	78°	73°	68°	64°	59°	55°	50°	46°	42°	36°	23°
9山	86°	83°	78°	73°	68°	64°	59°	55°	50°	46°	42°	36°	23°	11°	0°	-11°
10山	72°	68°	64°	59°	55°	50°	46°	42°	36°	23°	11°	0°	-11°	-23°	-36°	-42°
11山	58°	53°	46°	35°	23°	11°	0°	-11°	-23°	-36°	-42°	-48°	-53°	-58°	-63°	-68°
12山	42°	36°	23°	11°	0°	-11°	-23°	-36°	-42°	-48°	-53°	-58°	-63°	-68°	-73°	-78°

注：山数は調整可能な範囲内です。また、調整可能な角度は0°～15°です。

メモリ板



## 2. 斜面とアンカーの角度より、”アジャストプレート：水平・垂直角対応表”より調整山数を決定します。

水平角4°、垂直角4.5°を調整する場合の例(上・下、左・右は共通)

②上部 戻り山数	水平方向角度 <0°～15°>			
	2°	3°	4°	5°
6山	120° 3.8山	118° 4.2山	115° 4.6山	111° 5.0山
7山	110° 4.3山	107° 4.8山	104° 5.3山	99° 5.8山
8山	98° 4.9山	96° 5.4山	92° 5.9山	87° 6.5山
9山	86° 5.6山	83° 6.2山	78° 6.8山	73° 7.3山
10山	72° 6.3山	68° 7.0山	64° 7.7山	56° 8.5山
11山	58° 7.1山	53° 7.9山	46° 8.9山	35° 10.1山
12山	42° 8.1山	36° 9.3山	23° 11.0山	

①全体移動山数/垂直方向角度一覧

① 水平方向角度より4°を探す。

② 垂直角4.5°の近似角度を探す。

③ 全体を回転させる山数を決定する。  
・全体移動山数は8.9山

④ 表を左に移動し、上部戻り山数を決定する。  
・上部戻り山数は11山

## 3. 補剛板をセットし、下部アジャストプレート、上部アジャストプレートの順にセットしますが、その際にアンカーと受圧面が構成する角度が90度を超える鈍角となっている方を基準にします。

垂直方向、上が鈍角の場合は上が基準で上に最肉厚部を揃える。

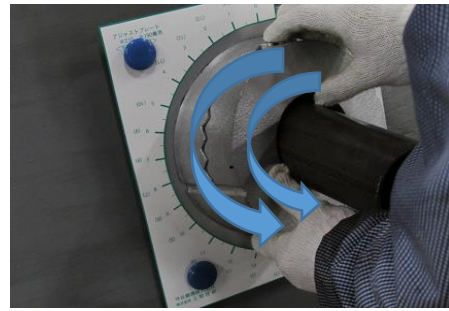
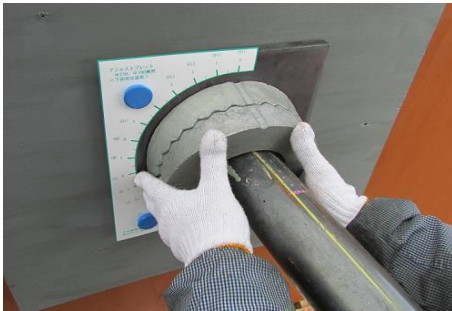
垂直方向、下が鈍角の場合は下が基準で下に最肉厚部を揃える。

垂直方向の補正角が0°の場合はどちらを基準にしても調整できます。



4. アジャストプレートセットした後、“下部用メモリ板”をアンカーと受圧面が広角を成している側にセットし初期設定は終了です。  
 水平方向、左が鈍角を成している場合は、左が基準で“下部用メモリ板”を左にセット。  
 水平方向、右が鈍角を成している場合は、右が基準で“下部用メモリ板”を右にセット。  
 水平方向の補正角が0° の場合はどちらを基準にしても調整できます。

5. 初期設定されたアジャストプレートを“アジャストプレート：水平・垂直角対応表”の①全体移動山数分“下部用メモリ板”をセットした方に回転させる。  
 今回の補正例で8.9山をメモリ板方向に回転させる。



6. 全体移動したアジャストプレートの内、上部アジャストプレートのみを前項とは逆方向に“アジャストプレート：水平・垂直角対応表”②上部戻り山数分回転させる。  
 今回の補正例では11山逆方向に回転させる。



7. 上記でセットは終了です。  
 設定値をスラント計等を使用して御確認される事を推奨いたします。

8. 水平角・垂直角のみの調整を行う場合は“アジャストプレート：水平・垂直角対応表”の水平角0° の欄より①全体移動山数②上部戻り山数を決定し、調整角度を形成した後に補正が必要な位置にセットします。

②上部 戻り山数	水平方向角度	
	0°	1°
0山	15.0°	15.0°
	0.0山	0.3山
1山	14.9°	14.9°
	0.5山	0.8山
2山	14.7°	14.6°
	1.0山	1.3山
3山	14.3°	14.2°
	1.5山	1.8山
4山	13.7°	13.7°
	2.0山	2.3山
5山	13.0°	12.9°
	2.5山	2.8山
6山	12.1°	12.1°
	3.0山	3.4山

①全体移動山数／垂直方向角度一覧

- 調整基準は上と左とし、①全体移動山数を反時計方向に全体を回転させます。
- ②上部戻り山数分上部アジャストプレートを反時計回り方向に回転させ角度設定が完了します。
- 垂直方向に補正で、上が鈍角の場合はここで完了です。下が鈍角の場合は全体を180° 回転させ完了です。  
 水平方向に補正が必要な場合は鈍角方向に全体を90° 回転させてセット完了となります。

注記 アジャストプレートは左右対称のため1)2)は各々を逆転させればどちらから回転させても調整は可能です。